

第3回八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

日 時：令和2年3月18日（水）13:15～15:00

場 所：八幡平市役所多目的ホール棟大ホール

参加者：会議次第のとおり

| 発言者 | 発言内容 |
|-----|--|
| 事務局 | <p>【開会】 有識者会議を開始いたします。</p> |
| 市長 | <p>年度末のお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。八幡平市の人口目標値については、減少傾向の中で目標を下げなくてもよいのかという意見もございましたが、前向きな活動としたい為据え置きで考えております。</p> |
| 事務局 | <p>それでは会長よりご挨拶を頂きます。</p> |
| 会長 | <p>今回が第3回の八幡平のまち・ひと・しごと創生総合戦略の会議で最終となります。これまで皆さんには2度に渡ってお集まりいただき、ご議論いただき有難うございました。コロナ対策等いろいろな問題があり、非常に忙しい中でこれをまとめていただいて、昨日の夕方見させていただきました。かなりよくまとまっているのではないかと評価しております。本日はコロナウィルスの問題もありますので、しっかり長時間にわたってご議論していただきたいところではございますが、最後の成案ということで、ご覧になって気付く点だったり感想であったり、決意であったり、ご意見をいただきたいと思っております。</p> |
| 事務局 | <p>【議事】 議事に入っていきたいと思えます。ここからの進行は、会長にお願いします</p> |
| 会長 | <p>それでは議事に従って進めたいと思っております。人口ビジョンについて、事務局からご説明をいただきたいと思えます。併せて、手続きについてのお話もいただければと思えます。手続きというのはパブリックコメントなどについてです。</p> |
| 事務局 | <p>初めに手続き的な所でございますが、2月3日に第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催致しまして、委員の皆さまからいろいろな意</p> |

見を頂戴いたしました。その意見をまとめて第2期総合戦略(案)を修正し、2月19日に八幡平市議会議員全員協議会の場にて説明をいたしました。そのあと2月21日から3月11日まで20日間にわたりまして意見募集ということでパブリックコメントを実施しております。パブリックコメントは八幡平市役所企画財政課及び西根総合支所、安代総合支所の3か所と、市のホームページで行いました。HPのページビュー数は20日間で142ビューで、意見の件数は5件となっております。

人口ビジョンにつきましては方針として第2回の会議でお示した資料を提示しております。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略といたしましては、修正をくわえたもので意見募集をしております。なお、意見は総合戦略の方にいただいております。

お手元にあります別紙1をご覧ください。

1つ目の意見は、「移住をして地域の方といろいろな関わり方をしていく方へのサポートを考えているか」です。回答としましては「八幡平として受け入れる地域づくりを行いたいと考えておりまして、市としては人材を受け入れられるよう努めてまいります。」としております。

2つ目として「インバウンドの関係で関係者だけではなくて市民全体でおもてなしが出来る体制づくりが必要ではないか」というご意見をいただきました。こちらについては、「現在関係者のみ研修等々に参加している状況ですが、考える機会を作って参りたいと考えております。」との回答を予定しております。

3つ目は、「DMOの方が中心となりまして観光滞在日数の長期化を図るような商品作り、体制づくりをする必要があるのではないか」というご意見をいただきました。こちらは、「DMOが中心となってそういった商品等々進めて参ります。」という回答になります。

4つ目は、「看板についてです。観光地の看板は必要であると計画等々に関係なくどんどん進めるべきである。特に八幡平ビジターセンターの敷地内に市内の観光地につなげるような看板が必要ではないか」というご意見でした。こちらは、「現在取り組んでいる、今後取り組んでいく予定の施策を説明し、今後より良い案内の仕方を検討して参りたい。」としております。

最後5番目の質問です。「スポーツでの交流拠点というところでプロジェクトを設けておりますが、スポーツだけではなくて芸術文化というものも拠点が必要です。今後後者が出てくるとすればどういうところで」と具体的なご意見をいただいております。こちらについては、明確な回答というのはなかなか出来ないところですが、「交流拠点の必要性については認識

しています。既存施設の有効活用というようなところを踏まえて、参画させていただきたい。」との回答を予定しております。以上、パブリックコメントのところの説明でございました。

人口ビジョン案の説明させていただきます。人口ビジョンにつきましては、第2回会議の方針としてお示ししておりました。方針に基づきまして、最新のデータの追加及びそれに基づく分析を改訂版案に盛り込んでおります。更新したデータにつきましては国勢調査、総務省住民基本台帳人口移動報告、岩手県環境保健研究センター、学校基本調査、労働力調査、社人研推計、市民アンケート調査結果、国民健康保険事業年報、後期高齢者医療制度年報に基づくデータの中で作成しております。最新データおよび分析を基にして総合戦略第2期を策定しております。こちらのデータは共にリンクしております。概要の説明を終わります。

内容ついてです。

1頁目に4として、2040年における目標人口について追加しております。1～3は、現在のものそのままということになります。社人研推計で将来人口推計が下方修正されましたが、市としては現在設定している目標値1万8,800人を据え置くこととしております。改定案では最終データの更新をしておりますという説明を入れております。2、3頁では国勢調査に基づく数字を最新データに更新してございます。5頁では住民基本台帳、医療報告のデータに基づきまして、平成27～30年の数字を入れています。表3では社会増減が平成29年と30年に2ケタになり、良い兆しとしてあげております。8頁では、国勢調査に基づいて平成27年以降の出生数、結婚者数や出生数を追加しております。分析としては、離婚の割合が大きくなっているという傾向があると記述をしております。10頁から12頁では、岩手県の人口ビジョンのデータを使用しているため更新しておりません。13頁以降は、社人研の推移を記載しております。繰り返しになりますがそれぞれの項目ごとに改めて分析をしております。15、16頁は具体的にこれに当てはまるデータを抽出できなかったこともあり、そのまま掲載しております。17頁以降は最新の数値ということになります。具体的には表11の右側平成30年から令和元年9月までの移動の増減で、かなり移動が多くなっております。先ほど平成29年と平成30年については減少傾向に見られたのですが、次の年になってからは幅が大きくなったという風に見えております。20、21頁のところでは、平成27年国勢調査と平成30年の学校基本調査の数字、表を差し替えております。23頁以降になりますが、将来の人口推計は、社人研の推計が平成30年の推定が出ておりますので引用しながら分析をしています。平

成27年度は実績値に代わって、それ以降は社人研の推定値を入れております。最新の推計では2040年には14,680人に下方修正されたという数字を使いながら、現在の目標値との差を比較しながら、分析をしております。26頁の(4)は新たな分析です。地区ごとに推定の数字を落としていくような作業をしました。中心部を除いてかなりの減少が見られるが、安代地区では42.8%という数字が表れております。28頁については、アンケート結果です。このアンケート結果は第2回の会議におきまして、総合戦略の説明の中で提示させていただきましたので詳細の説明を割愛させていただきます。29頁につきましても大きく変わりはないですが新しく芽が出た起業志民プロジェクトで集まった人材による起業が増えているところ盛り込んでおります。30頁以降につきましては大きく変わりありません。37頁以降人口の将来展望についても、基本的に総合戦略の方でプロジェクトの見直しは行いましたが、整理をただけなのであまり変わってないことから特に記載が必要な部分についてだけ記載があります。39頁は、推計値が二つございます。目標値と社人研の過去と最新の推定値です。40頁では具体的に数字がどれくらい違うのかと比較しております。平成30年推定値②では平成25年推計値③と比べて1,785人少なくなっています。市の目標値と乖離が大きくなりましたけれども今後5年間第2期の総合戦略についてはこのまま継続していくということでこちらの方に記載しております。42、43頁については前回のところから変更していません。以上で説明終わります。

会長

第2回の会議では、人口ビジョンについてみなさんからご意見をいただき、1万8,800人を変えないことで確認しました。その後新しい資料が入ってきたので、今改めて事務局の方から詳しくご説明いただきました。一番大切なのは39頁の図38で、3つの推定数字が出ています。一番上が八幡平市の戦略の推定値で、その下が社人研の推計値です。この乖離が延ばしていくとこういう数字になるということになるわけです。まち・ひと・しごとの戦略の考え方というのは、将来人口が自分たちのまちでどのくらいの人口必要か考えて、2040年、2050年の少し遠い目標に対し、自分たちが今もっている理想と、資源を損なわないように、最大限生かしながらどうやって近づけていくかという考え方になるかと思えます。逆に言えば、市では総合計画を作っていますが、総合計画はこれまでやって来た取組の結果により、どのような将来が描けるかという計画が作れるかと考えております。

なので、今回は5年間の差がどう見るかということがありますが、一旦掲

| | |
|-----|--|
| 事務局 | <p>げた 18,800 人の数字というものを掲げつつ、平成 27 年度実績に対して 25 年後の実績と近づけられるか？これが目標値です。これから頑張りながら出来るだけこの社人研の推計値が変わっていくように市役所がみなさんと一緒に努めることが必要になってくると思っております。</p> <p>今回、もう一つすごく大事なのが 26 頁です。エリアごとの人口推計です。中心地区が薄いグリーンになっていますが、他は良くなく、安代地区や松尾地区がいろんな形で頑張りながら人口をしっかりと残して地域が継続していくということがすごく大事です。今のままだとかなり人口の減少が高くみえる。ここを何とかするために、政策というものがあり、住んでいる皆さん方の努力が必要と思っております。これを眺めながら、市民一人一人が問題意識を持って変えていくムーブメント市民活動が期待されます。</p> <p>先ほど市長さんのから議会で目標人口を変えなくて良いのかという話があったようですが、やはり頑張らないと人口減少は避けられない。是非死ぬ気で頑張っていくような決意を改めて皆さん方にも確認していただければと思っております。</p> <p>全体的な意見は戦略もお聞きした中で皆様からいただきたいと思えます。まず、人口ビジョンに限って是非ここは確認しておきたいことや、ご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。</p> <p>ないようですので、続いて 2 つ目の議題、第 2 期の八幡平市まち・ひと・しごと創生総合戦略の案の方のご説明をお願いします。</p> <p>先ほどご説明しましたパブリックコメントで、ご意見がございましたが、案として作っていくものの中に含まれているという考えから、特に大きな変更はございません。第 2 回の会議でお示しした素案から、KPI の資料について若干の精査をしており、基準値と目標値を入れ込んだものになっております。</p> <p>今回、目標値の設定にあたりましては単年度における値あるいは単年度ごとの増加数の累計としておりまして、例えば令和 2 年から令和 6 年まで毎年 2 件増えるような場合には累計 10 件というような形で目標値（累計）というような形で載せております。</p> <p>27 頁のスポーツイベント開催数でございますが、こちらは 5 年間の累計で合計 61 回となっております。訂正をお願いいたします。先ほど申しました通り単年度ごとの目標値の設定を今回しておりますので評価につきましては、毎年その年の目標値に達成しているかという判断が出来るようになります。ここは、前回第 1 期の総合戦略と違っているところで、改</p> |
|-----|--|

| | |
|-----|---|
| | <p>善した点でございます。</p> <p>毎年前年度の KPI 数字目標を確認しながら評価して PDCA を回していく形をとって参ります。</p> <p>その他に、プロジェクト 7、8、9、12、13 のところでは他のプロジェクトと重複する施策を整理しております。具体的には、大更駅の開発事業の推進を施策からは削除しております。各プロジェクトとも出来るだけわかりやすいようにということで施策を厳選していることと、5 年間の計画期間の途中で随時見直しを図って更新をして進めていくという風に考えております。</p> <p>プロジェクト 8、24 頁の 3 でございます。市無形民俗文化財の映像記録化を追加しておりますが、こちらは前回の会議で委員の方から文化財もというご意見を頂きましたので具体的な施策ということでこちらをいれているものでございます。</p> <p>極めて簡単ですが、説明を終わります。</p> <p>有難うございました。第 2 回の時に資料で見ていただいたものに KPI が入り、まとまってきた、重複したものを整備したという考え方になっております。</p> <p>先ほどから申し上げていますが、2040 年の目標 1 万 8,800 人に向けてこの 5 年間にそこに達成していくためには何をしていくかという政策をいれて</p> <p>KPI (キーパフォーマンスインディケータ) という数値を毎年掲げながら累積という形で 5 年間施策を実施するといったことです。</p> <p>足りない所、また達成している所を個別に評価しながら、さらに次の政策へ続けていくことで、毎年第 3 期、第 4 期という形で 5 年ごとに社人研の推定値を少しでも上回りながら最終的に 1 万 8,800 人の八幡平市民が 2040 年に暮し、笑顔で明るく、八幡平で共に暮らし幸せを実感できる街というものが出来ていくというのが、この戦略になるということでありま</p> <p>す。今日かなり時間が限られているということがありますが、皆さまの方からご意見、ご質問いただきたいのですけれどもいかがでしょうか。最後に皆様から一言、いただく機会を作りたいと思いますけれど。特別に確認したいということがありましたらお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、副会長いかがでしょうか。</p> <p>24 頁のプロジェクト 9 について質問ですが、小さな拠点と活性化プロジェクトについて、他の市町でも総合戦略委員を行っておりますが、内閣</p> |
| 会長 | |
| 副会長 | |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>府の事業だと思いますが、これを意識して入れていると推測します。24頁の内容を見る限りでは具体的な施策が見えていないのですが、NPO組織みたいなものの活動をバックアップしていく予定とか、ご意向とか今の時点で明らかであれば教えていただければと思います。</p> |
| 委員 | <p>委員ご指摘の通り、国のメニューにありますので国の政策を勘案することも必要なため入れております。地方創生にあたっては最終的に小さなコミュニティの活性化が重要になると考えています。今までもやってきたものでございますが、残念ながら今のところ具体的な施策はないので、しっかり検討していかなければいけないということもあり、プロジェクト9として位置付けております。</p> <p>私はハローワークの人間なので、20頁が当てはまると思います。なかなか誘致企業も厳しい状況にあると思いますが、ハローワークでは誘致はできないので、県とも連携していただき、誘致企業も頑張っていたきたいと思います。</p> <p>高校生は市内就職率80%を維持しています。是非上を目指して、県は3月卒業時に県内就職が68%行かないというところがございます。県の目標は84%ぐらいと言っておりますので少しでも上げたいと思っておりますのでその辺を頑張ってくださいと思います。ただ、生徒の数が少なくなっておりますので率が上がったから雇用する人が増えるかと言うと、そのリンクがなかなかできないので、そこが社会増と言うか企業誘致なりをどうやって市内に呼び込むのか、そういうところを工夫していかなければならないのではと思います。前回、欠席させていただきまして、議事録を見たときに多様な働き方、夏場、冬場、別の事業所というかそれを連携させるような派遣事業の発見もあったらいいのではないかという意見もあったように記憶しておりますが、積雪の多い地域ではなかなか一年を通して同じ仕事に付けるという、特に農業の方とかは難しいということは承知しておりますので是非そういう形でも進めていただければなと思います。ただ労働法の問題がなかなか追い付いていないという背景もあり、社会的には副業とかを一部推奨しておりますが、現状が必ずしもそこにマッチングしていないという事情もあると思います。皆さんの意見を聞きながら進められるような政策を実施させていきたいと思っております。</p> |
| 会長 | <p>どうも有難うございました。これから生産年齢人口がどんどん減少していくのでその中でどう効率的な工夫をしていくか、その中で勤務地も含め</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>てより良い職場環境作っていくか？今回はハローワークさんと連携して良い職場作りを進めていくようお願いしたいと思います。</p> <p>では、委員お願いします。</p> |
| 委員 | <p>プロジェクト3の企業誘致に向けた工場適地の紹介で、工業団地が八幡平市は土地だけあって整地されていないような感じがします。実際、八幡平市内で土地を探している方が工場を建てたいと言っていた。外国人の実習生の寮を建てたいという会社さんもあったので、実際に目に見えるような工業団地があればいいのかと思いました。</p> |
| 委員 | <p>的外れなこと言うかもしれないですが、単純に人増やしたいのであれば、刑務所を誘致すれば一気に人が増えます。細かいこと考えるよりも刑務所です。土地余っていますし。一番手っ取り早いのかなと思いました。プラン的には全部全うだとは思いますが、単純にとどまってもらうための遊ぶ場所とかそういう観点のプランがないと思いました。</p> |
| 委員 | <p>全体的に素晴らしいと思います。プロジェクト4の子育て支援組織や体制の充実ということで、他県ですが高齢者の方々の居場所と子供たちが集まれる場所をつくっているNPOとかもありますので、そういう部分を学びながらこの地で出来るものか考えていきたいと考えております。</p> |
| 会長 | <p>有難うございました。確かに高齢者と子供と一緒に遊べると、高齢者の人も元気出るし、子供たちが文化を継承するという意味でもすごくいいと思いますので民間活動と一緒にやれると良いと思います。</p> |
| 委員 | <p>20頁の人材強化プロジェクトについてです。社内でこの度コンサルティング会社と地域商社の2つの会社を立ち上げたということで、今までそのような部署はあったのですが、それを専門的に会社としてやっていくということで。今後、起業なりいろいろな人材の交流なりを専門的にやっていくことにより、人口の減少に少しでも歯止めがかかるようなお手伝い出来るかと思っている次第でございます。今後とも八幡平市との連携を強化しそのような部分でお手伝い出来ればなと思っております。</p> |
| 会長 | <p>地域商社それからコンサルティング会社、銀行の方々がそちらで専門家の方と連携してやっていくという全く新しい地域との交流が出てきますので、是非自治体も活用しながら地域が発展するような施策を考えて</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>いただきたい。八幡平市の素材をどう産業化しマーケティングしていくかということだと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>冒頭で5年間の計画ですが単年度ごと評価していくということで、5年間一年ごとに見ていくというのも結構タイトなスケジュールとなっていくと思います。かつ人口の数値も変えないということで、かなり実行力を高める必要があるかと思います。スケジュールはどのように単年度ごとに見直しをして次の年度に繋げていくかという今のところの見直しなどあれば伺いできたらと思います。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>今回ご提示しております総合戦略については、あくまで政策レベルの計画でございまして、具体的にどういう事業に取り組んでいくかということにつきましては、一部先行して設定している事業とかはございますが、具体的にはこれから整理あるいは新設もあります。新規事業とかも考えると、事業展開していく中で結果として政策のKPIの達成状況や進捗状況がどの程度になっていくかを1年ごとに図っていく必要があると思っております。第1期の総合戦略は、5年間1度も政策の内容については見直しを行いませんでしたが、今回第2期にあたっては、進捗あるいは事業の展開等も踏まえたうえでプロジェクトの項目やKPIを見直す必要があるのではないかという状況も踏まえて考えるべきとしております。一年毎に状況をみなさんに説明しご理解いただきながら毎年度の次の展開というものを考えて進めていければと思っております。</p> |
| <p>委員</p> | <p>計画の中で累計の令和6年の数字で書いているところもあると思いますが、単年度ごとに細かくというのも資料には載っていませんが既に作られていますでしょうか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>第1期の総合戦略では基準値と平成31年の目標値の2つだけでした。各年度に有識者会議の議員の皆様にご集まっていただき、実績と比較した数字を見ていただいた経緯があります。第2期でも比較の仕方はこれまでと同様にABCなどでKPI毎に評価します。その中で、状況がどうなのかというところを観察することになると考えております。各年度に各担当で目標値を設定いたします。最終的な目標のところと段階的に当然成果が上がっていくところなども出てきますので、それについては正當に評価がしていけるのかなと思っております。</p> |
| <p>委員</p> | |

| | |
|----|---|
| 会長 | <p>計画に盛り込む見せ方の問題かなとも思うのですが、せっかく作っているのであれば資料に載せるというのもありかなと思っています。結局実行性を高めていくのであれば、添付資料のような形でしておくと、市民の皆さんもそうですし、私たちも数字でシビアに見ていかなければいけないのかなというところもあると思うのでご検討ください。</p> |
| 委員 | <p>非常に重要なご意見だったと思います。ただ、一つ懸念しているのは、予算設定に時間がかかることで、自治体の特性上仕方がないです。いかに短い期間で回していくのかは工夫をしていただきたい。数値と言うより傾向を見ることによって数値が達成するというよりは、気運が盛り上がることで最終的には達成できるかどうか、大きな判断基準となっていますので、具体的な見直しをしながら進めていくということを是非お考えになっていただきたいです。</p> |
| 委員 | <p>うちの中学校では今年度PTAの組織を大幅に改編してスリム化した経緯がございます。プロジェクト8のコミュニティスクールの推進というところにありますように、コミュニティスクールの導入によって市民の意見が学校に大きく反映されるような仕組みが遂行されるということで、プロジェクトで示された数字をもっと露出していただいて学校側を市民だとか保護者が突き動かせるような活動報告なり、危機感を増やせると良いと思っております。</p> |
| 委員 | <p>特に関心が強いところで言いますと、23頁の八幡平で暮らすプロジェクト7のところ、26頁の観光のプロジェクトのところ。今、小規模ではありますが、暮らし方、働き方、学び方というのが子供も大人も、海外の人でも求めて知りたい、興味あることが被っているので、それに対応できることをやりたいと思っています。前回私の方から伺ったことにお答えいただいて、市民向けにかなり取り組みやすい補助とか企画プロジェクトに対して用意されているというお話がありました。ただ市民があまりに知らないというところがやっぱり残念だなと思いました。やりたいことがある友人、知人にそのことを話したところ、実際企画を出す段階にはなっていないと思うのですが、行政でも支援があることを知れてよかったことです。八幡平市は市民がやりたいことに間口を広げています。こういったことを是非PRしていただければと思います。何かやりたいということに対して、すごく受け入れてくださるベースがある八幡平市だと感じているのでそれは対外向けにも市内でもすごく素晴らしいことだと思って</p> |

| | |
|------------|--|
| <p>委員</p> | <p>いるので宜しくお願いします。</p> <p>意見というより、感想になってしまうかもしれませんが、私も1年半くらいこちらのまちに居させていただき感じることは、八幡平市という所の魅力は何だろうと考えたときに、とても度量の広いところだと感じます。私のように他の地区から来た者も受け入れていただいて、好意的に接して下さる方もいますし、少しずつコミュニティができていところで住み続ける気持ちが高まっています。資料の8頁を見させていただくと真ん中の方に20代から30代の若年層ほど定住意向が低い結果というのが書いてあります。理由を考えたときに、やはりこの世代が一番動ける。今の時代は移動がスムーズにできますので、定住というよりは動いてみたいという意識が高まるからかなと感じました。そしてUターンの増加というのがこの8頁の上にも書いてありますが、八幡平市は観光で行くまちでもあると同時に帰ってきたいと思わせる魅力のある町まちとも思いますので、20代30代の定住の意志を固めてもらいたいというよりは、あえて動いていただいて、魅力に気が付き帰ってくるまちと感じました。幼少期の体験であったり、ふらっと来た人が祭りとかに参加したりし、このまちっていい所だと感じることで、長い目で見たときの人口の減少に少し緩やかにしていくことにつながるのかなという意見を持ちました。私はフリーランスという生き方をしていますが、これまで会社員も派遣もフリーランスもアルバイトもいろいろ経験してきました。資料の12頁にあるように、八幡平市はフリーランスや首都圏に早くから着目し、都会と同じように受け入れようと色々施策をしています。これは市民としても感じますし、全く知らないで来たときも感じました。</p> |
| <p>委員</p> | <p>今の委員のお話に関連するのは、お手元に資料戦略の5頁で、定住人口の前に関係人口があって交流人口があります。交流人口、関係人口をどう増やして八幡平がいいという風にみていただけるか、あとは最近よくいわれるのはサケが一回大海に出て数年後にまた戻ってくるというように他の地域を知って八幡平の良さをまた初めて気が付くというようなことがこれからすごく大事になってくるだろうという風に思います。そういうことをこの戦略の中でしながら2040年に18,800人の人たちが豊かに暮らせるとそういう町づくりになればいいかなという風に思います。一通りご意見いただきましたけれどもぜひご発言さらにしたいというような方もしいらっしゃればお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> |
| <p>副会長</p> | |

| | |
|-----------|--|
| <p>委員</p> | <p>すみません、先ほど発言いたしました、国の事業で小さな拠点で、地域運営組織形成のための事業なのですが、先ほど名前伏せてこういう例があるというお話をしましたが、実際は志摩町ですが、地区や団体ごとに、コミュニティ活動を行うところに予算付けをし、公募で採択されたところを町がバックアップし、国に報告するという活動を摂っておりました。是非すでにお考えであれば、23頁のプロジェクト7のような活動を市の中で制度を作って支援をしますというようなPRの仕方をすれば市民の方もこういう風に市に対して働きかけをすればよいかとすることがよりわかりやすくなりますのでご検討いただければと思います。</p> |
| <p>会長</p> | <p>ソサエティ 0.5 や SDGs もありますけど、早めに 5G を導入したら、持続可能だというなら八幡平市にゴミ焼却場を誘致し、そのお湯で子供たちが遊べるプールなどを誘致できると良いのではないのでしょうか。近隣の方にはプールの無料券を配るとかで配慮をして。わざわざ盛岡市にゴミ処理場を作ってしまうと、運搬費がかかって、八幡平市の方のゴミがわざわざ運搬費をかけて他に行くというのも、ムダだと感じました。</p> |
| <p>市長</p> | <p>ゴミ処理場についてちょっと申し上げますと、最近のゴミ処理場は運転効率、エネルギー効率が良くなって、温泉に回すようなエネルギーが出てこないことがあります。検討する時はしっかりと意見を交わしたほうがいいと思います。</p> <p>では最後に市の方から、今までの皆さま方の意見が出ましたので、コメントなどいただけるとありがたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>貴重なご意見、ご提案等をありがとうございます。今取り組んでいる、また強化していかなきゃいけない部分は、コミュニティ、小さな拠点づくりです。合併する時に考えていたのは、この部分でした。合併したことにより地域の拠点や地域の文化が廃れてはならない。それぞれの中学校単位、小学校単位に地域振興のコミュニティを作ってください、そこで自由に活動していただきます。自由に使えるお金を予算化して各コミュニティセンターに配布し、センター同士が広域に取り組むことは、事業とは別枠で支援していくという形をとっており、十数年経過しました。やはりコミュニティセンターの地域力、そこの地域力によって活動の強弱がでてきます。定着してどんどん前に進んでいくコミュニティもありますし、なかなか進めないという所もあります。そういう所を強化するなり広域連携で取り組む。単独で厳しくなっている所は広域で取り組んでもらう、そうい</p> |

うふうなものに、手厚く予算処置して地域力、地域の小さいながらも拠点というものを作ってもらえればなと思っていますところでございます。

国で急遽なんですけど法案が通り、総務省管轄の特定地域づくり事業協同組合という法律ができました。既存の公共安定、雇用を超越したような組織を作り、地域の活性化を図っていく法律ですが、我々も勉強するために手を挙げようとしています。

さっきおっしゃったような、冬場の仕事、夏場の仕事を自由に選択し、コーディネートする会社を作り上げることが出来き、都会の人材を確保しながら地域の活性化を図っていきなさいという法律です。まず勉強のために手を挙げてやってみたらと住民の方に発信しております。

まちの人事部ですか、市がやろうとしている、人材マッチングをいかに上手くできるか。国とも相談してやっていかなければならない認識です。おそらく職業安定所さんとも調整が必要と考えております。かなり協議が必要となる事業かなと思っています。その際にはぜひご指導いただければありがたいなと思っています。

地元の平館高校の生徒の地元就職率というのは、約70%です。間違いなく地元の高校に入った人は地元就職していただけるというのは非常に重要となります。ただ残念なのは盛岡まで通っている地元出身の高校生を地元にとどまっていたか。通学する駅にパンフレットなどを設置し催しなどへの参加を促すことで地元愛を育むことも重要と考えます。

委員さんから話があった、とにかく若い人は、我々も一端は外に出たい、これはしょうがないです。対策として私は中学校と高校生の卒業式に行くこと必ず、八幡平市は8月の15日、成人式やりますと告知し、八幡平市の成人式に来てくださいと、必ず来ることを期待しますと話をしております。一方、成人式では、都会に行って働いている人達には故郷の素晴らしさを知っていると思うので、帰ってくることも考えてほしいと、冗談話を話しています。

常日頃から子ども達に帰巢本能を持たせる、そういう誘導策を、学校の先生にもお願いしたいです。そういう意識づけというのは子供たちに対して必要じゃないのかと感じております。

人口ビジョン、総合戦略をご承認いただいて、できた暁には、なんとかここで定めた目標に向かって頑張りたいと思っています。

八幡平市の場合は大きな希望になるのは、ハロウインターナショナルスクールです。建築の契約も済んだようですので、具体化します。具体化した際には、どう地域に根差せるか。八幡平市をアピールできる材料になるのか。人口の減少に歯止めをかける有効な手段がこのハロウのプロジェクト

| | |
|------------|---|
| <p>会長</p> | <p>トの中で考えることができるのか。今から考えていかなければならない。ハロウスクールができることによって働く人達をどう確保するか、都会のほうから先ほどの帰巢本能をくすぐり、市内出身の人を呼び込み、働く人材として確保できるかどうか。企業、事業主さんとも一緒に考えて行かなければならないと、お話ししているんですが、まだ具体的には決まっていない状態です。</p> <p>チャンスはあるので生かしていきたいなと思っています。</p> <p>議事の2はこれで終えまして、議事3のその他という、委員の皆さま何かございますか。</p> <p>やはり住民がいろんな活動をあまり周知していないという点で、市役所の広報にも限界があると思います。今日はお集まりの委員の方にぜひお願いしたいのが、委員の方々一人一人が、せっかく情報を持ったので、それを周辺の方々にピーアールしていくという活動をぜひお願いしたいというふうに思っています。</p> <p>市役所と住民との繋ぐということ、委員の方々がこれから色々な形でおこなっていただき、最終的には地域の住民が自立して自分たちの街だということを考えて行く。そこを市役所どんどん後押ししていくと、そういう流れになってくれれば良いと考えます。</p> <p>よく他の自治体では市が何もやってくれないから、俺たちはダメだと市に文句言うだけだという事例も少なくありません。八幡平市は市民と市役所が一体となって、どちらからという市民が先に走って行ってそれを市役所がいいものあれば、サポートできる町になれます。トップランナーになり得る自治体だと思っているので、そういうことを含めて委員の皆さま方今後とも関わっていただければありがたいなと思っています。以上で議事を終えたいと思います、よろしいでしょうか、はいありがとうございました。それではマイクを事務局の方に戻します。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>ありがとうございました。皆さま方にもおかれましては貴重なご意見大変ありがとうございました。市長のほうからお話しがありありましたが、今までの話と全く関係のないような話しでもよろしいですが、何か皆さんからこの場でも話したいとか、市に対してあるいは、これ以外についても、何でもよろしいです。お話ししたいということがあれば、お願いしたいなと思います。</p> |
| <p>委員</p> | <p>17頁にあるSDGsの推進と言うことで私のこの2-3年によく知り</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ました。国連で定められた指標だと思うのですが、実際自分自身も含めてなのですがSDGsと略して言われることもあります。八幡平市は高齢者方も多いので日常的に聞かない言葉とか知らない内容だと受け入れられないこともあります。自分の世代でも子育てしているお母さん友達でもこういうことがあるということ自体、知らない人のほうが多いです。ただ、八幡平市のエコシティとしての素養がものすごく高いと感じています。新しく何か施設を造るとか導入するとかをまったく必要なく意識を持つことでサステナビリティや、産業が栄えたのが今こういった場所になっており、自然を生かした地熱もありといったこともございます。去年、県の方針で八幡平市がモデル地区になり企業の方や環境庁の方が来られたツアーに、私もプログラムを提供させていただいたのですが、そもそもごみを出さないという発想であるとかプラスチックをなるべく使わないという発想自体、どうしてそうしなければならないのかが想像がつかないという世代の人もいらっしゃいます。</p> <p>SDGsのカードゲームがあるのですが、八幡平市でも他の取り組みの中でたぶん2、3回実施されていると思います。参加された方、私は夜だったので参加できなかったのですが、こういったカードゲームを自治会で何かの時に開催するとか、日頃農作業されている方がこういったことに参加する機会を何か作るとかちょっと発想の転換、意識の転換という意味では面白いと思います。もう少し参加しやすい日時、回数で企画していただく、また参加すると何か特典があるとかそういった形で市民の注意の意識も変わっていくような要素が生まれればと思いました。</p> |
| 事務局 | <p>SDGsにつきましては、昨年地熱活用理解促進事業のなかで、経済学の渋谷先生にお願いをし、カードゲームを行いました。夜でございましたが、多くの皆さんに経験体験していただきました。</p> <p>確かにそういう事業とかがないとなかなか市でSDGsの説明会などの展開というのが難しくもあるかとおもいますが、出前講座とかもありますのでそういった形で進めていくなり検討したいと思っています。ご意見大変ありがとうございました。</p> |
| 委員 | <p>PTA会長としての話ではないのですが、合同入社式スケジュールを見ていましたら来月の3日に合同入社式と言う言葉を見ました。前回の会議で出た合同入社式の話は早速実施されており、スピーディーさを感じてとても好感を覚えました。ぜひ他の案件もスピーディーに事を進めていけますように期待しております</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>今お話しいただいた合同入社式ですが、コロナ対策で中止の話になってしまいました。</p> |
| 副会長 | <p>先程委員からご意見のあった、政策強化に関する点で要望です。大船渡市では基本目標とその下にぶら下がっているプロジェクトについて定期的に外部委員を集めて、評価委員会と言うのを開催しています。特に KPI の達成度合いが特に低いもの 4 段階で評価し、C や D がついているものを中心としてさまざまな委員が意見を言ってというような取組を行っています。もちろん他の市では計画づくりまではしっかりやりますが、その後の評価についてはあまりやらないという市もあるようです。ぜひ八幡平市も事後的な評価のところも力を入れていただけると良いのではないかなと感じます。</p> |
| 事務局 | <p>KPI の評価は、昨年 10 月 11 日に第 1 回目の有識者会議を開催した際にこちらの表をご提示させていただき、KPI の状況を年度ごとに数値を並べて、ご説明しながらご意見をいただいております。来年度は現総合戦略が今年度で終わりますので、その総括と言う意味で数値がまとまりましたらそれをお示ししたいと思いますし、また今度の第 2 期の総合戦略の中間的評価と言うことで進捗状況をできるところまで皆さんにお示しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>会長からもお話があったのですが、評価はどうしても 1 年遅れになってしまいますので、2 年度の作業の結果を 3 年度の予算に反映させるというのは現状の行政の仕組みですとやはりそれは 1 年遅れの 4 年度の予算に反映されるというようなことになってしまいます。総合戦略 5 カ年という中でそういう展開だとあつと言う間に過ぎてしまいますので、中間評価も行いながら推進したいと思っております。来年度もご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは以上をもちまして令和元年の第 3 回八幡平市まち・ひと・しごと創生有識者会議を閉会といたします。ありがとうございました。</p> |